



建設水道

下水道運営委員会の答申

■1月26日開催

下水道使用料に関する下水道運営委員会の答申の説明を受け質疑を行った。今の社会情勢から考え、値上げについて住民に受け入れられるのか。運営委員会で意見があったか。

行政視察
■1月13日(町田市)
■1月14日(世田谷区)
地籍調査事業で、官民境界等先行調査(街区調査)を実施している東京都町田市の視察を行った。昭和60年より狭あい道路拡幅整備に積極的に取り組んでいる東京都世田谷区の視察を行った。

Q 住民に周知を図るとき、資本費算入割合40%にすると言っても理解が得られない、わかりやすい説明を。

A 運営委員からも、料金に関する簡単な説明をするように言われた。広報紙に挟み込むほか、検針員の検針時に投函してもらえばどうかという意見もあり、料金を請求するところには必ず届く方法を考えたい。

■2月12日開催

委員会の提言



▲播磨分署で救急車の装備品について説明を受ける

Q 地元消防団との連携は。春の礼式訓練、ポンプ操法の東播大会・県大会に向けた練習時などで、消防署職員も一緒に訓練し、連携を図っている。

民生生活

救急救命の現場は

3月議会で、JR土山駅西踏切周辺の道路整備と狭あい道路の拡幅整備

に関する提言(所管事務調査報告)を行うため、各委員からの提言案をまとめて報告書を作成した。



■1月19日開催
加古川市東消防署播磨分署視察

町との連携は。市町境界がわかりにくい場所では、他市町でも出動する。

Q 瓜生の交差点までの北行きが危険。その手前に、葬儀場ができるが。

A 1月16日、播磨小学校で防災訓練を行い、児童が体験した。自主防災組織や赤十字奉仕団からも参加された。

3月定例会 請願

- 採択されたもの
 - ▶「公共工事における」建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願書(意見書を送付)
 - ▶「協同労働の協同組合法」(仮称)の早期制定を求める意見書提出を求める請願書(意見書を送付)
- 不採択となったもの
 - ▶「現行保育制度の堅持・拡充」と「保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める」意見書提出を求める請願書

総務文教

土山駅南自由広場の使用

■1月28日開催

敷地面積は約1600㎡。利用は無料。申し込みは、総合体育館で午前9時～午後7時(第4月曜日と年末年始が休み)予約の申し込みは、利用日の1カ月前から。

Q 現地に使用基準は明記されているのか。

A 必要であれば掲示する。

東はりま特別支援学校整備事業の進捗状況

障害種別は知的障がい。小学部・中学部・高等部。学校規模は180人を予定。小・中・高で30学級。平成21年4月1日開校。高等部1年40人程度受け入れ予定。現時点での入学希望者は30人弱。

Q 過密ゆえに東はりま支援学校ができたのに申し込みの少ない原因は。

A 保護者や本人の希望もある。40人集めなければならぬわけではない。

Q 播磨町駅は無人駅で、通学時間帯は駅員を配置するなど見守りも必要、播磨町も知恵を出して対策を練るべきでは。

A 学校側で考えていた。協議会の方は通学路の安全確認で協力される。駅員の配置までは難しいと思う。

Q 地域で利用できる学校開放の時間帯や曜日は。

A 学校を優先し、空き時間を地域が使用する。

Q 指定管理の指定
指定管理は3年前に制度を導入。今回の更新から、選定委員会で指定期間を5年とした。

中央公民館改修事業
▼当初工事予算の3100万円は、設計基準に基づいて見積もりをした。
▼工事中明らかになった漏水のため、屋上防水工

Q 評価された重要なポイントを提示してもらえたら判断がしやすいのだが。

A 選定に係る分については、資料で提出したいと思う。

Q 複数の公募があったと思う。

3月定例会 3月25日開催
「中学校給食を導入するにあたって、早期に広く町民の意見を聞き、真に望まれる中学校給食の実施を求める意見書」の対応。
意見書は2月4日の教育委員会定例会に議題として上げたが意見はなかった。

放課後子どもプラン事業の今後の方向性
来年度は学校側と協議をし、4小学校で実施したい。
▼今年は学年を3・4年生へ拡大したが参加者は増えなかった。
▼放課後子どもプラン事業と学童との共同は、国の動向を見て考えたい。

教科担任制度
▼県は「教科担任制」と「少人数授業」を組み合わせた「兵庫型教科担任制」の実践研究を行う。